

報道関係者 各位

令和6年1月29日

【照会先】

健康・生活衛生局 感染症対策課  
感染症情報管理室長 横田 栄一(内線2389)  
特定感染症係長 今枝 宏文(内線2097)  
(代表電話) 03(5253)1111  
(直通電話) 03(3595)2257

## 2月4日の「風しんの日」に風しん対策啓発イベント「健康経営®の

### 第一歩！会社で風しん抗体検査」をオンラインで開催します。

厚生労働省は、風しんをなくすために活動している“風しんゼロ”プロジェクト実行委員会等と協力し、2月4日(日)の「風しんの日(2(ふう)月4(しん)の日)」にオンライン配信「健康経営®の第一歩！会社で風しん抗体検査」を開催します。

現在 45～62 歳の男性は、他の世代と比べて風しんの抗体を持たない方が多く、自身が知らずに感染し身近な方に感染を広めてしまう可能性があります。風しんは免疫のない妊婦が感染すると生まれてくる子どもの心臓、耳、目等に重大な影響が出ることがあります。そのため、風しんの追加的対策として、この世代の男性に、無料の抗体検査やワクチン接種への協力をお願いしています。

イベントでは、大阪大学の行動経済学者がMCを務め、ゲストとともに風しんのリスクや企業においてどうサポートが可能か等を対話し、風しんを日本からなくすために取り組んでいきます。どなたでも無料でご視聴いただけます。

#### 【イベントのMC】

・大竹 文雄 氏

大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授

#### 【イベントのゲスト】

・倉澤 健太郎 氏

横浜市立大学附属病院 産婦人科 診療教授/周産期医療センター長

・堀 愛 氏

筑波大学 医学医療系 国際社会医学研究室 准教授

・越後屋 百合 氏

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課 課長補佐

・正樹 義久 氏

一般社団法人 日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部長

・島村 優大 氏

伊藤忠商事株式会社 人事・総務部 企画統括室

・田中 学 氏

日本生命保険相互会社 健康経営推進部 健康経営推進課長

#### ■開催概要

- ・テーマ 風しん対策啓発イベント「健康経営®の第一歩！会社で風しん抗体検査」
- ・配信日：2024年（令和6）年2月4日（日）0時～
- ・配信サイト：CiDER 大阪大学感染症総合教育研究拠点の YouTube サイト  
[http://www.youtube.co/@cider\\_pr](http://www.youtube.co/@cider_pr)

内容:MC とゲストによる対談

**主催** 大阪大学 感染症総合教育研究拠点

**共催** 厚生労働省

**後援** “風しんゼロ”プロジェクト実行委員会※

構成団体:日本産婦人科医会 国立感染症研究所感染症疫学センター 日本周産期・新生児医学会 日本酸化婦人科学会 日本小児科医会 日本小児科学会

#### ■取材の事前登録

本イベントは事前に収録したものを配信となります。

事前にオンラインにて配信会(質疑応答あり)を下記日程で予定しておりますので、取材をご希望の場合は、1月31日(水)までに、別紙1の取材申込書の内容をメールにてお知らせください。

#### 事前のオンライン配信会(質疑応答あり)

2月1日(木)12時30分～13時45分

#### 【取材申込書送付先、問い合わせ先】

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策課

担当:越後屋 百合(内線 8265)、

直通電話:03(3595)2257 代表電話:03(5253)1111

Email: [echigoya-yuri.8d7@mhlw.go.jp](mailto:echigoya-yuri.8d7@mhlw.go.jp)

※“風しんゼロ”プロジェクト実行委員会は、日本産婦人科医会、日本産婦人科学会、日本周産期新生児医学会、日本小児科学会、日本小児科医会、国立感染症研究所からなる、風しん排除を目的に啓発活動を行っている団体で、毎年2月4日を“風しんの日”と定め、2月を啓発強化月間としています。



2月4日は風しんの日

# 健康経営®の第一歩！ 会社で風しん抗体検査

配信日

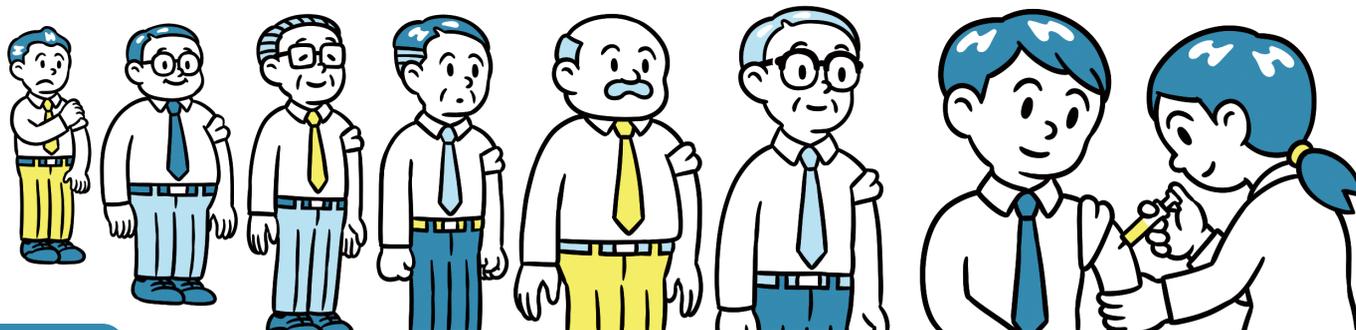
2024年2月4日(日)

配信サイト

大阪大学CiDERのYouTubeサイト  
[https://www.youtube.com/@cider\\_pr](https://www.youtube.com/@cider_pr)

ご存知でしたか？男性の風しんの感染経路は『職場』が多いこと。  
※2018年、2019年の「風疹流行に関する緊急情報」国立感染症研究所 感染症疫学センターより  
職場や家庭に風しんウイルスが持ち込まれ、妊婦が感染すると  
胎児の先天性風疹症候群となるリスクが高まります。  
風しんの抗体が低いとされる45歳から62歳の男性が、働く会社で  
風しん抗体検査を受けられるようにするために、会社は何から  
はじめれば良いか。  
これまで実際に行われた企業の取組や研究をもとに具体的に解説します。  
風しん抗体件とワクチン接種の無料クーポンの期限は2025年2月末まで！

今こそ企業での抗体検査とワクチン接種実施について  
一緒に考えましょう。



出演者



大竹文雄

大阪大学感染症総合教育研究拠点  
特任教授



倉澤健太郎

横浜市立大学附属病院産婦人科  
診療教授 / 周産期医療センター長



堀愛

筑波大学 医学医療系  
国際社会医学研究室 准教授

越後屋百合

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部  
感染症対策課 課長補佐

正木義久

一般社団法人 日本経済団体連合会  
ソーシャル・コミュニケーション本部長

島村優大

伊藤忠商事株式会社 人事・総務部  
企画統轄室

田中学

日本生命保険相互会社 健康経営推進部  
健康経営推進課長

主催 大阪大学感染症総合教育研究拠点

共催 厚生労働省

後援 “風疹ゼロ”プロジェクト実行委員会

構成団体：日本産婦人科医会 国立感染症研究所感染症疫学センター 日本周産期・新生児医学会  
日本小児科医会 日本産科婦人科学会 日本小児科学会

制作 テレビマンユニオン



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

「健康経営®」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です